

この子らと

令和2年1月

まことの保育



別院本堂



鹿児島竜谷学園和光幼稚園

園長 川口公男



今年もよろしくお祈りします
令和二年 元旦



あけましておめでとうございます。今年も職員一同、よろしくお祈り申し上げます。

「一年の計は、元旦にあり」という言葉はよく使われています。ほとんどの人が「今年こそは」と目標を立て、気持ちを新たに一年をスタートいたします。

職員もまた、「今年一年、未来に生きる子どもたちのためにがんばろう」という目標を立て、新年を迎えてくれていると思っております。



お寺の郵便局側の掲示板にこんな法語がありました。

「今年こそと 思う心に 『今はない』」どんな意味を持っているのかを考えてみました、一年の計、一生の計を実現する

には、足元を見失うことなく、一日一日をしっかりと生きていくことが大切だという教えではないかと思えます。一生の計は少壮にあり、一年の計は元旦にあり、そして「一日の計は朝にあり」ではないでしょうか。一年の計が「挫折」しないために、

一生、一年という大きな目標を達成するためには、「今」をどう生きるかが問われます。

「今日、今このときに子どもたちのために何ができるのか」と一日の目標を立てて、日々、気持ちを新たに、幼稚園に向かいたいと思えます。

そんな思いの一日一日を積み重ねていくことで子どもたちに「未来に生きる力」の根っこの部分を育むという大きな目標を達成することができる

と思います。「法語」を戒めの言葉だと受け止めて職員全員で取り組んでいきます。

お正月の俳句

「天秤や 京江戸かけて 千代の春」(松尾芭蕉)
「めでたさも 中くらい也 おらが春」(小林一茶)
「正月の 子どもになって 見たき哉」(小林一茶)
「年玉を並べておくや 枕元」(正岡子規)
「正月の 人集まりし 落語かな」(正岡子規)
「去年 今年 貫く棒のごときもの」(高浜虚子)



餅花

「餅花や 正月寒き 屋根の雪」(飯田蛇笏)
(餅花は鹿児島県伊佐市、奄美大島等でも行われています。)

インフルエンザについて

昨年末においてインフルエンザの報告があった子どもは最大5名でした。インフルエンザの流行は、例年11月下旬から12月上旬に始まり、1月下旬から2月上旬にピークを迎え、3月頃まで続きます。

インフルエンザウィルスは、1ミリの一万分の1の大きさで、くしゃみのしぶきに混じって飛び散り、空気と一緒に子どもたちの体内に入り込みます。

【症状は】

感染すると風邪の症状に加え、突然高い熱(38度以上)が出たり、全身がだるくなったり、頭痛や筋肉痛などの症状が出ます。

【予防は】

- 手洗い、うがい、換気、せきエチケットが予防の基本です。マスク着用が効果的です。
- 部屋の湿度を50%~60%にしておくと、ウィルスが増えにくくなります

【出席停止の期間の基準は】

- 発症してから5日を経過し、かつ、解熱後3日間を経過するまでです。それまでは登園を控えていただくこととなりますのでご了承ください。

--	--